

## 2023 キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」会議録

日 時：令和5年6月6日（火） 10：00～11：00  
会 場：釧路市中央図書館7階多目的ホール及び各中学校の教室等  
※オンライン Google Meet を利用して開催  
テ ー マ：「学ぶこと、働くこと、そして生きること」  
パネラー：一般社団法人釧路青年会議所 理事長 高橋 建作  
釧路市教育委員会 教育長 岡部 義孝  
コーディネーター：釧路市教育委員会 教育指導参事 本川 敬一

### 1. 開 会

### 2. シンポジウム

【司 会】 ただ今より、キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」を開会いたします。

さて、本日はご案内のとおり、こちら釧路市中央図書館と市内15中学校をオンラインでつないでおります。

本日は、お二人のパネラーから「学ぶこと、働くこと、そして生きること」をテーマにお話をいただきます。

パネラーは、一般社団法人釧路青年会議所 高橋建作理事長と釧路市教育委員会 岡部義孝教育長にお願いしております。

また、シンポジウムの進行につきましては、釧路市教育委員会 本川教育指導参事に務めていただきます。

およそ1時間のシンポジウムになりますが、途中生徒の皆さんからの質問を受け付けますので、進んで質問してください。

一緒に「学ぶこと、働くこと、そして生きること」について、考えていきましょう。

それでは、本川参事、よろしくお願いいたします。

【進 行】 それでは、シンポジウムをはじめます。

参加者のみなさん、メモの用意はよろしいでしょうか。

まずは、自己紹介をお願いします。岡部教育長、お願いします。

【教育長】 みなさん、おはようございます。釧路市教育委員会の岡部です。教育委員会での仕事は2つの大きな柱に区分されます。一つは学校教育、もう一つは生涯学習。教育長はその両方の責任者。それぞれに釧路市としての代表を担う立場です。わかりやすく説明します。皆さんが毎日通っている学校、市内には小学校、中学校、義務教育学校が39校あります。博物館や動物園やまなぼとや文化会館、こども遊学館ですね。これらは社会教育施設というんですが、あるいは湿原の風アリーナやアイスアリーナなどのスポーツ施設、これら市内の各施設の管理運営と、そこで行われる文化活動、スポーツ活動全般にも最終的な責任を負っている。そういう立場であります。

今日はオンラインという形ではありますが、15校、約1,000名の皆さんとこうやってコミュニケーションできますことを大いに楽しみにしてまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

【進 行】 岡部教育長、ありがとうございます。続きまして高橋理事長、自己紹介をよろしくお願いいたします。

【理事長】 はい、みなさま、おはようございます。聞こえてますかね。

私は一般社団法人 釧路青年会議所、2023年度の理事長の職を預かっていただきます、高橋健作と申します。よろしくお願ひいたします。

青年会議所、JC とよく言われておりますけども、何のことか皆さまわかってはいないと思いますけども、青年会議所について、簡単にお話させていただきますと、釧路の街が良くなるためにはどうしたらいいんだろう、ということを考えている人が集まっている団体です。その理事長なので、今年一番偉い人です。

責任を持つ立場と人間として、いろんな活動をしております。

青年会議所は、街づくり、人づくりをする団体となります。皆さんの一番身近に感じていただけるのは、来月開催いたします「くしろ霧フェスティバル」でしょうか。

普段、私は、別の仕事、自動車の解体などをしておりますので、自分の仕事をしつつ、この街のためには何をしたらいいのかなと考えている団体ですので、もし色々なところでJC もしくは青年会議所ということ見かけましたら、私が活躍しておりますので、気軽に声をかけていただきたいなと思っております。

以上、自己紹介になります。

**【進 行】** 高橋理事長、ありがとうございました。

それでは、いまお二人の自己紹介の中にも、お仕事の内容が少し詳しく含まれておりましたので、ちょっと重複することもあると思いますけれども、改めてここでお二人に、普段の仕事の内容をちょっと付け加えていただきながら、その仕事のやりがいはどこにあるのか、という辺りを中学生の皆さんにお話しいただければと思います。それでは、岡部教育長、よろしくお願ひいたします。

**【教育長】** はい、そうしましたら、仕事のやりがいということについて少しお話をさせていただきます。先ほど申し上げた、私は教育長に就任をしてから、概ね5年7ヶ月ぐらい経ちました。

この間、特に学校教育に関しては、学力向上であり、いじめや不登校の問題、学校施設の整備、さらにはこの3年間、特にコロナ対策なども含めて、様々な課題に、いわゆる全力で立ち向かってきたというふうに思っています。

なぜか？ 言い換えれば、私は教育長として何のために仕事をしているのかということですが、それはたった一言で言うことができます。就任してから5年7ヶ月、1分1秒、何も変わっていません。釧路の子どもたち、皆さん方、一人一人が、一人残らず幸せになること、このことを、ただ一つの目標、目的として仕事をしていきます。

この目的に向けて、私は自分なりに課題を設定し、それを乗り越えていくこと、そのことにやりがいを感じているところであります。

最も大事にしているのは、ふと日常の中で何かに気づくことがあります。これまで通りのやり方ではなくて、こうすればもっと簡単に、もっとわかりやすく、もっと経費をかけないで、など、いろんな気づきを仕事に生かすことが重要だと思っておりますし、そういった自分のアイデア、気づきが生かされて、そのことが仕事を前向きに進めることになったときに、率直に嬉しいなと思っておりますし、そうした瞬間が自分にとってのやりがいなんだろうなと思っております。

やりがいなんていうのは、前に向かって歩いていけば、日々いくつでも感じられるものだと思っておりますので、ぜひ皆さんもそういったことについてもお考えいただければと思います。

**【進 行】** はい、ありがとうございます。続いて、高橋理事長、やりがいというあたりでお話いただきたいと思っております。

**【理事長】** はい、仕事のやりがいですがけれども、簡単に言うと、誰かに感謝されることと

いうのは非常にやりがいを感じます。何か私たちが困っている、誰かが困っていることに対して助けてあげたりとか、今より環境が良くなったりとか、例えば家族の人とかに皆さんがご飯を作ってくれたりとか、何かお手伝いしてあげたら、ありがとうと言われると思います。それと同じように、私たちの仕事も同じ形で、誰かに感謝されたり、ありがとうというふうに言われたりすると、すごくやりがいを感じます。なので、青年会議所で行う、霧フェスなんかも皆さんに楽しかったよとか言われるとすごく嬉しいです。また、仕事に対しても同じことで、私の本業は自動車の解体なんですけれども、自動車処理するのに困っていたんだよねというところで助けてあげると、感謝の言葉をいただけ、すごく嬉しいです。本当に誰かの何かに役に立っていると思うとすごく嬉しく、やりがいを感じます。以上です。

【進行】 はい、高橋理事長、ありがとうございます。

中学生の皆さん、ここまでお二人の話、大体つかめているのでしょうか。大丈夫ですか？大丈夫だったら、〇ってこう出してもらえますか？

はい、ありがとうございます。

少しちょっと難しくなるんですけども、やりがい、ちょっと踏み込みまして働くことの意義についてお二人からお話を伺いたいと思います。意義、つまりどうして、なぜ働いているのか、あるいは働くことそのものの意味というあたりをどうお考えなのか。今度は高橋理事長からお願いいたします。

【理事長】 働くことの意義ということだと思うんですけど、まず一つには、生きることといったことが必ず入ってきます。やはりですね、お金というふうな形でとらえてしまうとすごく嫌な感じがしますが、でもやはりお金があるかないかというのは、生活の部分で関わってきますので、そういった部分では必要なのかなと思います。ただ、お金のためだけではなくて、自分が何をしたいのかという部分の自己実現、自分がこういうふうになりたいんだ、ああいうふうになりたいんだ、皆さんも今、将来何になりたいかというようなことを考えていると思うんですけども、その中で自分がどういうことをやっていきたいのかなということ、実現というか体現、表現できる場所というのが働く場所なのかなというふうには私は考えております。そういうことを思いながら、今自分がやっていることをまだまだ表現にしきれていないのですが、少しずつ一歩ずつ進んでいる形になります。はい、以上です。

【進行】 はい、ありがとうございます。続きまして、岡部教育長もよろしくお願いたします。

【教育長】 はい、いま高橋理事長より色んなお話がありましたが、ただこの働くことの意義、それを一言で言い表すのは非常に難しいんだろうなというふうに思っています。例えば、医者先生、病院先生は何のために働いているのでしょうか。一人でも多くの人々の命を救うためかもしれないし、お金儲けのためかもしれないし、家族を養うためかもしれないし、働くことに人それぞれいろんな意味があり、あるいは一つではないようにも思っています。

ちょっとこんなデータをお話させていただきますが、今、若い世代の労働者を中心として、こんな問題が深刻化しているのを皆さんご存知ですか。

学校を出て入った会社を早々と早期に退職する人が非常に多いんです。具体的に言うと、大卒の3割、高卒の4割は3年以内に退職をしていると、こんな現実があります。あるいは、定職に就かずフリーターとして職場を転々とする、こういった例もありますし、これらの多くは、そもそも働くことに対して持っていたイメージと、実際に働いてみたところでの感じたギャップがあったらう

と言わざるを得ないかと思えます。

私はただ一つだけ言えるのは、先ほどのお話した働くことにはやりがいが必要なんだろうと思っています。

働くことも含めて、自分のためではなく、自分以外の誰かのために、家族でも社会でも、自分以外の誰でもいいんですけれども、誰かのために行うことはいつも尊いし、そこには必ずやりがいがあるような気がします。

私は働くことの意義というのは、やりがいと大きく結びついていると思っています。

【進 行】 はい、ありがとうございます。

それでは、参加されている中学生の皆さんから、一回質問を受けたいと思います。これまでの話について、もう少し聞いてみたいことがあるとか、質問してくれる人が準備されている学級もあると思いますので、質問がある学級の皆さんは、学校名とクラス名が書かれている紙をカメラに大きく映るように映してもらえればと思います。

去年までは、挙手ボタンを使っていたのですが、たくさんの画面の中で挙手ボタンを使うと、なかなか見にくいために、今回は「〇〇中学校一年何組」という紙を出していただければと思います。

質問のある皆さん、いらっしゃいますか。

幣舞中学校1年2組、お願いします。

【質 問】 幣舞中学校の1年2組です。岡部さんに質問があります。

いじめや不登校の対策は、具体的にはどのような対策をしているのか、聞きたいです。

【進 行】 よろしいですか。今の質問でいいですか。では、教育長お願いします。

【教育長】 ありがとうございます。新聞等でご覧いただくことがあるかと思うのですが、いま釧路だけではなくて、いじめや不登校の問題が全国各地で大きな課題になっていることはご承知かと思うのです。

まず、いじめの問題。いじめというのは早期に認知をすることですが、なるべく早期に発見をして、要するにいじめにならない前に、芽のうちで積むことが大事ですので、私は各学校の先生方には、ぜひいじめにならない前に早く発見する取組をお願いしています。

また、不登校も全国各地で9年連続ぐらい、前年度より増えている状況で、釧路もそうなんです。なんとかして、不登校の子どもたちも、社会的自立、ちょっと難しいかな、いろんな居場所を確保しながら、学びは止めないと、こういった施策を今進めていこうと思っておりますので、今日のキャリアシンポジウムの中では少しテーマが逸れるものですが、いつかいじめと不登校の話について、もっと時間をかけてお話ししましょう。

【進 行】 よろしいでしょうか。

それでは、他に質問のある学校学級ありませんか。北中学校の1年2組お願いします。

【質 問】 北中学校1年2組です。岡部さんに質問です。なんで教育委員会に入ったんですか。

【進 行】 なんで教育委員会に入ったか。はい、お願いします。

【教育長】 私はもともと、釧路市役所に入ったんです。もう 40 年前のことになるんです。釧路市役所に入って、いろんな部署を点々としたんですが、最後は、蝦名市長からの任命を受けて教育長という職に就きました。

でも、よかったと思ってますよ。今日こうして、皆さんとお話しできることも教育長になってなければなかったことですから。なんでなったかというのは、とりあえず、難しい質問だね。なんでなったかという、教育長を目指していたわけでもないんですけども、結果としては教育長になってよかったなと思ってます。全然答えになってませんが、難しい質問なので、この辺りで勘弁してください。

【進 行】 はい、他に質問ある中学校はありませんか？

高橋理事長に車の解体のこととか聞いてみたいとか、あるいは JC の霧フェス以外のことを聞いてみたいとか、質問ありませんか。

鳥取西中学校 1 年 4 組お願いします。

【質 問】 霧フェスにアーティストを呼ぶのですが、どのように交渉していくのでしょうか？

【理事長】 はい、ありがとうございます。いろんなやり方があるんですけども、普通にアーティストさんに、例えば、今だったら SNS に DM につながることもできますし、あとは事務所の方に電話して、こういうふうな日にちがあるんだけどどうですか？ということと交渉ですね。その交渉は、例えば、どのような時間で、いつ、どのような時間で、あとは金銭的な、これくらいのお金で出演してくれませんか？そういった部分の交渉をします。よろしいですか？

【進 行】 はい、他に質問ありませんか？

青陵中学校、青陵中学校 2 組ですね。青陵中学校 1 年 2 組お願いします。

【質 問】 青陵中学校です。高橋理事長に質問です。働く上で今までつらかったことや、嫌だったことはありますか？

【理事長】 はい、ありがとうございます。嫌だったこととかつらかったことっていうのは、たくさんあります。ここで具体例は言えないですけども、でも、嫌だったこととか苦しかったことを、ずっと思っていると、ずっと嫌なものになってしまうので、それをどうやったら良いものになるのかなっていうふうなことを、ポジティブシンキングというか、良く考えていきたいと思っています。嫌だったことをどうやったらプラスになるのかなとか、どうやったら次に嫌じゃなくて良いことになるのかな、ということを考えているので、あまり嫌だ嫌だじゃなくて、どうやったら次に進めるのかということを考えようとしています。ごめんなさい、答えになってなくて。

【進 行】 はい、ありがとうございます。他ありますか？

鳥取西中学校 1 年 4 組お願いします。

【質 問】 岡部さんに質問です。

教育委員会に入って良かったことはありましたか？

【教育長】 はい、ありがとうございます。先ほど、なんで教育長になったんですかという質問を受けて、あまり明確な答えはできませんでした。それはなぜかという、私はもともと市役所に入ったので、市役所になぜ入ったのかということは、はっ

きりとお話できます。それは大学を出て、地元の釧路で、地元の人たち、市民のために、自分になにができるかな、あるいは何かをやりたいなと思って市役所に入りました。その延長線上で、今の教育長という職があると思っています。教育委員会の中で、学校に通っている皆さんとも、いろいろお会いすることがあったり、今は皆さんが行かれている学校を、毎日回って、いろいろな授業を見させていただいています。そういった中で、皆さんが授業に没頭している姿だとか、そういったことを直に見ることが多くあって、そういった場面を見るときに、この仕事をやってよかったな、教育委員会に来てよかったな、こんなふう思うことがあります。以上です。

**【進行】** あと、1クラス、2クラスくらい質問欲しいな。ご質問はありますか。じゃあ幣舞中学校の1年1組お願いします。

**【質問】** 幣舞中学校の1年1組です。高橋さんに質問なんですが、青年会議所はどんなことをしているんですか。

**【理事長】** ありがとうございます。青年会議所は、先ほども言いましたが、街づくり、人づくりというような団体です。今というか、単年度制とって、1年ごとに、色々変わったりしますが、その時に思う課題は何だろうな、この釧路の街に思う課題は何だろうな、ということを考えてやります。今、私が今年やってみようと思ったのは、教育というか、皆さんと一緒に勉強していきたいな、ということ。また、釧路の中で、産業というか、色々な良いところが沢山あります。なかなかそれに気づいてもらえていないんだな、ということが思ったので、産業の再構築というか、再発見をしたいなということでやっています。来年になったら、私、理事長という職は降りますが、来年になると、来年の理事長さんが考える、釧路の課題は何だろうな、ということを考えますので、毎年毎年、色々なことをやっていますので、ちょっと興味を持ってもらえると嬉しいです。以上です。

**【進行】** 前半の最後の質問にしたいと思います。景雲中学校1年4組お願いします。

**【質問】** 景雲中学校1年4組です。高橋さんに質問なんですけど、人作りは具体的にどんなことをするんですか？

**【理事長】** 人作りといとなかなか難しいんですけど、何かを人を作るということではなくて、私たち大人というか、皆さんも色々成長すると思いますけども、私たちの青年会議所に所属している人間もそうですし、大人になってからも成長しなければならぬという風に考えます。ですので、街作りをした中で、こういう課題に立ち向かってこういうことを知ったよ、ということが一つでも多くあれば、私たちの学び、それが人作りにつながってきますので、そういったことが人作りと考えております。

**【進行】** まだフリップ上がっていただけなんですけども、シンポジウムの後半のほうにいきたいと思います。その後で、時間が許す限り、たくさんの学級から質問を受けたいと思いますので、挙手ボタンではなくて、紙に学校名と学級名を書いて用意してもらえればと思います。いまの岡部教育長と高橋理事長、それぞれに向けて、質問がいくつか出てきましたが、そこでですね、今までの、それぞれのお二人のお話や、生徒の皆さんから質問を踏まえた上で、参加している、釧路市の中学校1年生の皆に対して、エールを送っていただきたいと思います。ちょっと難しいんですけども、中学校1年生に向けてのエールを、高橋理事長からお願いいたします。

【理事長】 皆さんにエールということではないんですけども、エールなのかな、分からないんですけども、私が皆さんに伝えたいのは、釧路っていいところがいっぱいあります。皆さんって結構学校と、お家の往復だったり、例えばそこからちょっと習い事とかいろいろ行くと思うんですけども、そういったところからちょっと一歩はみ出た、釧路の街って何あるのかな、というふうなことを考えていただきたいなと思います。なんかすごく嫌なことがあったな、とか思ったら、例えば近所をちょっと散歩してみるとか、今まで行ったことのない釧路の街ってどこなのかな、って考えてみるとか、そういったところに行ってみると、なんか面白い発見とか、いろんな自分の今までなかったものが得られることがたくさんあります。本当に私もですね、今年で40歳になりますけれども、釧路の街ってまだまだ知らないんだな、というふうに思います。一番私が知っているよとは言いきれないので、そういった部分の発見する、再発見なのかもしれないし、いろんなことをですね、見に行っていたきたいなというふうに思います。そうすれば未来というか将来広がってきますので、やっていただけるとうれしかなと思います。以上です。

【進 行】 それでは次に、岡部教育長お願いいたします。

【教育長】 今日はキャリア教育ということで、キャリアシンポジウムを開催させていただきました。私ども釧路市教育委員会と釧路青年会議所は、5年ほど前ですかね、連携協定という協定を結んで、こういった事業を進めていこうと、共に連携しながら、このような事業を取り組んでいこうということで、今日のキャリアシンポジウムもそうした一環であります。なんでこういうことを始めたかということなんですが、そもそもキャリア教育というのは、2つの側面を持っています。1つは、皆さんがやがて社会に出ていた時に、自立するために必要な能力を身につけていただくこと。もう1つは、自分の進路、自分の将来は自分で決めるんだという、そういった主体性を持っていただくこと。さらに、青年会議所JCの皆さんとこういった事業をやっていることとしたのは、青年会議所の皆さんから、この釧路で働くということ、こういったイメージも含めてお話をいただきたいと思ったからなんです。ただ、皆さんに毎年、このキャリアシンポジウムの中でお話ししていることがあります。例えば、こういった将来予測があるんです。今の子どもたちの65%、大体3分の2くらいは、大学を卒業した後に、今は存在していない職業に就くというシュミレーション。分かりますか？例えば、学校の先生などは、今、存在している職業なんです。でも、一方では、今から10年ちょっとくらい前に、YouTuberという職業が世の中に登場してきておりますが、キャシー・デビッドソンさんというニューヨークの先生は、今の子どもたちの3分の2は、今はない仕事に就くと言っていることを、まずは、一つご理解をください。それから、もう一つだけ言うと、今後20年程度で、約47%、大体半分の今ある仕事は自動化されるというデータがあります。これは、マイケル・オーズボールさんというオックスフォード大学の先生であります。要するに、今ある職業、仕事の多くは、今後なくなっていく可能性が高いということを言わざるを得ないのだと思います。したがって、今言われていますように、今後、将来的に人口が減っていったり、高齢化が進んでいったり、仕事が自動化されていったときに、皆さんは、我々、大人が知らない、大人ですらはっきりとした答えを持っていない、難しい時代を生きていくことになります。そのような意味で、皆さん一人一人が、私は生きる力と言っているのですが、世の中の変化に対応していく力をしっかりと身につけていただいて、将来社会を生きていっていただきたい。そういった今日は機会になればいいなと思っておりますので、エールになったかは分かりませんが、今後も、今私がお話したことを、何かの機会に少し思い出してい

ただければ幸いです。ありがとうございました。

【進 行】 それでは、お二人のお話、そして最後にエールという形で、メッセージが送られましたので、時間の許す限り質問を受けたいと思います。では、前半と同じように質問がある方は、学校名、学級名を出してください。はい、早かったですね。共栄中学校の3組お願いします。

【質 問】 はい、共栄中学校3組です。先ほど岡部さんが、自分の将来は自分で決めると言っていましたけど、今の時点で将来の夢とか、何になりたいとか、ない場合はどうすればいいのでしょうか。

【教育長】 はい、ありがとうございます。実は私もそうでしたよ。皆さんと同じく、中学1年ぐらいの時は、何になりたいだとか、そんなことも考えたことすらなかったです。いつぐらいかな、市役所に入りたと思ったのは、大学3年ぐらいかもしれない。なので、今、将来何になりたいかって、決まっている人もいるかもわからないけど、決まっていなくて、たくさんいると思います。だからそうした時に、いつも思うのは、さて、自分は何が得意だろうということ、時に考えてもらえればと思います。勉強ができるでもいいし、足が速いでもいいです。絵がうまいでもいいです。あるいは、これから英語がうまくなりたいたとかもいいです。そんな、何て言うんですかね、いま持っている皆さんが漠然と持っている夢だとか、そういったものが、やがて将来の職業に結びついていったら、理想的だなと思いますので、まず皆さんには、日常からそういった自分を見つめること、それに時に時間を割いてもらえればと思います。よろしいでしょうか。

【進 行】 はい、他質問あるところありませんか。では、大楽毛中学校お願いします。

【質 問】 大楽毛中学校、イノウエです。高橋さんに質問です。釧路で新たな発見をした方がいいと言っていました、お勧めのスポットはありますか。

【理事長】 はい、お勧めのスポットは、ここではまとめきれないです。本当に、いま質問してくれた方が知らないようなところも行きたいと思えますし、逆に教えてほしいくらいです。

【進 行】 はい。それでは、阿寒中学校お願いします。

【質 問】 阿寒中学校1年A組です。岡部さんに質問です。私はいま、食品関係の仕事につきたいと思うのですが、どのような仕事か、どんな仕事か、自動化されるかと思えますか。

【教育長】 今の予想されるというところで少しお話しさせていただきますが、例えば、AIと聞いたことがありますよね。人工知能。最近、生成AIというものが、chatGPTなんていうものが出てきていますが、基本的に、入力だとか、データ処理だとか、そういった人工知能に容易に変わっていくものについては、今後、AIがそういった仕事を担っていくだろうと言われています。食品関係というのは、どういう食品関係ですか？

【質 問】 かまぼこ製造者になりたいんです。

【教育長】 うーん。それぞれの仕事について、AIなどに取って変わられるかどうかというのは、それぞれの今後の将来見通しがありますけれども、一つだけ簡単に言い

ますね。人間でしかできないことは、ずっと人間がやります。だから、かまぼこも、あなたにしか作れないかまぼこは、AI やコンピューターやロボットではできません。それを追求してください。

【進 行】 それでは、山花中学校お願いします。

【質 問】 お二人に質問です。世の中に対応する能力を発展させるためには、いま自分は何をすればいいのか。

【進 行】 難しい質問ですね。高橋理事長からお願いします。

【理事長】 はい、ありがとうございます。世の中に対応する能力というのは、いま何をするのか。いまは全力で生きることです。例えば、世の中にどういうことが起こるかわからないというのは、先ほど岡部教育長も言っていましたけれども、そのための準備というのが、例えば今の学校で習っていることもそうだし、学校の外にあることも絶対的に必要になってきます。どんなことが起こるかわからないからこそ、そういったものに、いろんなことに興味を持って、いろんなことに取り組んでいけば、将来必ず役に立つと僕は思います。

【進 行】 ありがとうございます。すみません、発言しないときは、ちょっとハウリングが起きているので、ミュートにして発言するときだけ、マイクをオンにしてください。教育長お願いします。

【教育長】 世の中に対応するために必要なのは、私は情報だと思っています。リアルタイムの情報を、リアルタイムで分析をしながら、その情報の正確さは、検証しなければならないと思いますが、情報を持っていない人たちは、やがて世の中から取り残されていくかな、こんな気はしています。

【進 行】 はい、ありがとうございます。他に質問はありますか？  
では、鳥取西中学1年4組お願いします。

【質 問】 岡部さんに質問です。仕事のことで自立する能力はどうしたらいいんですか？

【教育長】 自立する能力はどうしたらいいんですか、ということですね。先ほども少し似たようなことをお話ししましたが、皆さんが今後生きていく社会というのは、実は私も答えを持っていません。どんな社会になっていくかわかりません。なので、皆さんには、ぜひ今後間違いなく、変化を繰り返していく社会、時代にも、対応できるような生きる力を身につけていただきたいというのは、先ほどもお話ししました。そういった中に、もちろん、学校で学ぶことから得られる学力もあります。それから、ふるさとのこと、この釧路の魅力についてもあります。これも一つ前にお話ししましたが、そういったいろんな知識、情報を得て、それを皆さんなりに咀嚼しながら、自分のものとして身につけていく。このことで、きっと自立する力というのは身につけていると思います。自然に身につけていると思います。

【進 行】 それでは、鳥取中学校お願いします。

【質 問】 鳥取中学校です。教育長にお伺いしたいのですが、現在存在しない職業が将来増えたとしたら、資格、免許の数はどのように増えて、どのように減っていくと思いますか？

【教育長】 今後も人間が行うであろう職種というのが、例えば、お医者さんだとか、看護師さんだとか、保育士だとか、学校の先生だとか、弁護士、税理士、カウンセラー。今聞いて、ちょっと感じるものはありませんでしたか。これみんな資格が必要な職なんです。なので、おそらく、今言ったような資格を取ること、いくらか社会的な自立に結びついていくことはあるかと思えますし、ご自分の将来、ご自分のキャリアを、そういった観点から見ていくというのも、少し大事なことになるのかなと、今のご質問を聞いて、そう思いました。よろしいですか。

【進 行】 はい。ありがとうございます。  
それでは、春採中学校1年1組お願いします。

【質 問】 1年1組です。岡部さんに質問です。教育長として一番やりがいを感じた瞬間は何ですか。

【教育長】 やりがいを感じたことはたくさんありますよ。ただ、そうだな、初めに教育長って教育委員会って会社の社長だっていましたよね。この後、高橋理事長にも同じこと聞きたいんですけども、私は社長っていうのは大事なことがあって、次の3つだと思っています。1つは判断をすること。これが社長として一番大事な仕事。その次は自分が判断したことに最大限の責任を持つこと。これが社長としての2つ目の大事なこと。3つ目は自分の会社を運営していくために何が必要なんだ、何が課題なんだということを常にいろんな角度から見出す努力を続けること。この3つだと思っているので、日々そういう中で判断をしたり責任を持ったりしていることが私にとってのやりがいでもあります。その次は高橋理事長が同じ質問に答えます。

【理事長】 やりがいを感じた瞬間ですけども、私も今、最高責任者として、立場としてありますけども、私自身がやりがいを感じたというか、嬉しいことは仲間が一番活躍してくれていることですね。自分じゃない誰かが、私自身がやることはいつでもできますけども、私がこうじゃないのってアドバイスして、その人が最高の結果を出して喜んでいる姿を見た時っていうのは一番やりがいを感じます。やはりですね、同じ仲間として頑張っている人を応援できるっていうのはすごく嬉しいことなので、そこに一番やりがいを感じています。

【進 行】 時間がだんだんなくなってきたので、あと一つか二つかなと思うんですけども、ぜひ質問したいという学校、まだ質問していない学校もあるんですけども、じゃあ、大楽毛中学校お願いします。

【質 問】 岡部さんと高橋さん、二人に質問です。将来の夢の選択肢が二つあるんですが、どちらかに絞る方法がありますか？

【進 行】 ちなみに二つの夢、差し支えなかったら教えてもらえないですか？

【質問者】 古生物学者と、自然や野生動物の保護です。

【進 行】 2つの夢を1つに絞るポイント、方法。

【理事長】 反対に質問です。なぜ2つを1つに絞らなくちゃならないんですか？やりたいことが2つあるのであれば、別にその1つでやらなきゃならないというルールも理由もないので、いままで世の中にならなければ、そういった職業を作っ

てもいいのかな、と思いますので、全然やりたいことが1つじゃなくても2つ、3つ、もっともってあってもいいと思いますので、そういった部分で進んでいけばいいかなと僕は思います。

【教育長】 はい、それでは私からも、すごいですよ、いま中一の時点でやりたいことが2つに絞られているというのは、私にとっては信じられないくらいすごいなと思います。その2つのことについて、これからも積極的にいろんな知識を吸収してください。やがて、これから何年か経った時に、どっちに進んでいくかなというのは自然と決まっていると思います。頑張ってください。

【進 行】 はい、まだまだですね、画面上では、幣舞、景雲、鳥取西、北、鳥西ってたくさん学級名が上がっているんですけども、予定していた時間がそろそろ終わりになってきましたので、シンポジウムの後半はここら辺で終わりたいと思います。それでは司会にバトンタッチします。よろしくお願いいたします。

【司 会】 はい、パネラーを務めていただきました、高橋理事長、岡部教育長、そして進行の本川参事です。ありがとうございました。

またご参加いただきました生徒のみなさん、先生方にも感謝申し上げます。

特に生徒のみなさん、こういう場で積極的に質問できること、質問しようとした心がお客さんじゃなくて、自分も関わろうとしたということで、みなさんの未来を、そういう心が切り開いていくんじゃないかなと思いました。この場を作ってくださった全ての人への感謝の気持ちを込めて、その場でですね、大きな拍手を、みなさんに感謝の気持ちでしていただけるとありがたいなと思います。では用意をして、はい、拍手。はい、ありがとうございます。

はい、本日質問できなかったことは、ぜひこの後のアンケートに記入してください。可能な範囲でお答えをし、みなさんに伝えるようにいたします。

以上をもちまして、キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」を閉会いたします。

この後は、本シンポジウムの話から見えてできた、働く目的や意義、生きがいなどについて、学級ごとで話し合いを持ってください。

先生方、よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。